



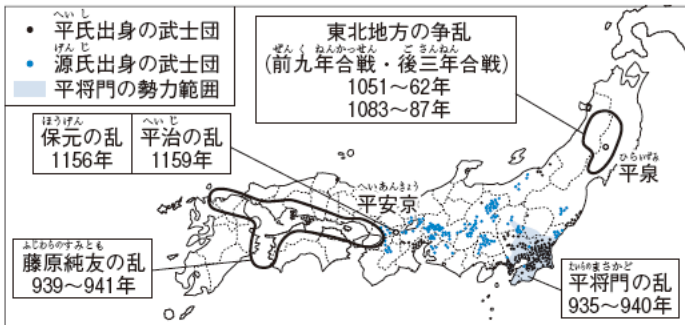
単元 5

武家政治の始まり



映像
教科書
P.62～71

学習のまとめ



宗派	開祖	特徴
浄土宗	法然	念仏を唱えれば、だれでも極楽浄土に生まれ変われる
浄土真宗(一向宗)	親鸞	法然の弟子。自らの罪を自覚した者が救われる
時宗	一遍	踊念仏
日蓮宗(法華宗)	日蓮	法華経の題目を唱える
禅宗	栄西 道元	栄西(臨済宗)、道元(曹洞宗)が宋から伝える。座禅で自ら悟りを開く

▲A 武士団と各地でおこった争乱

▲B 鎌倉時代の新しい仏教

1 武士の登場(図表のワーク①～③)教科書 P.62・63

- 武士のおこり…10世紀、地方では国司やその子孫が武装し、有力な農民や豪族も武装して対抗。朝廷は下級貴族や地方の有力者を武官に任命→武士が形づくられる→一族の長(惣領)を中心に武士団を形成。
- 朝廷と貴族に仕える武士…10世紀中ごろ関東で平将門、瀬戸内で藤原純友が反乱をおこす。朝廷は武士の力を使って治める→武士が成長→中でも天皇の子孫である源氏と平氏が棟梁として武士団を率いた。11世紀後半、東北地方で2度の戦乱がおこる→源義家がしずめる。12世紀、平忠盛らが瀬戸内海・瀬戸内海を海賊をしずめる。のちに奥州藤原氏が平泉を中心に勢力を広げる→源氏が関東地方(東国)に勢力を広げる→平氏が西日本(西国)に勢力を広げる
- 荘園と武士…地方の武士は開発した土地を有力な貴族・寺社に寄進し荘園とする→地方への影響力を強める。

2 貴族から武士へ(図表のワーク④～⑨)教科書 P.64・65

- 荘園と院政…11世紀中ごろ、後三条天皇が荘園を整理→白河天皇は上皇となり摂政と関白をおさえて院政。
- 中央の政治と武士…鳥羽上皇の死後、院政の実権をめぐり争い→1156年の保元の乱では後白河天皇が平清盛・源義朝をしがえ崇徳上皇に勝利。1159年の平治の乱では平清盛が源義朝を破り、平氏が勢力を広げる。
- 平氏政権の誕生…平清盛は武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握る。娘を天皇の后として一族も高い地位を占め、広大な公領や荘園を支配した。瀬戸内海の航路や大輪田泊を整備し、宋と貿易を行う。
- 平氏の滅亡…平氏への反感が高まり、源頼朝らが兵を挙げる→1185年、源義経が壇ノ浦で平氏を滅ぼす。

3 いざ鎌倉(図表のワーク⑩～⑬)教科書 P.66・67

- 鎌倉幕府の成立…源頼朝は、1185年、国ごとに守護、荘園・公領ごとに地頭を置くことを朝廷に認めさせる。1192年、征夷大將軍に任命される。將軍と御家人は、御恩と奉公による主従関係で結ばれる→封建制度。
- 北条氏の執権政治…頼朝の死後、実権は執権に就いた北条氏に→執権政治。1221年に後鳥羽上皇が挙兵→幕府軍に敗れる(承久の乱)→幕府は京都に六波羅探題を置き、朝廷を監視。西国にも勢力を広げ、幕府の支配力が強まる。1232年、北条泰時らが裁判の基準などを御成敗式目(貞永式目)に定める→武家政治の手本となる。

4 弓馬の道(図表のワーク⑭・⑮)教科書 P.68・69

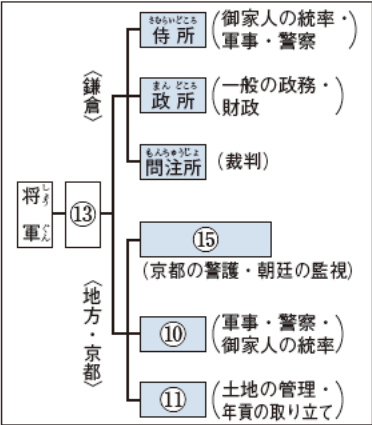
- 武士の暮らし…地方の武士は館を設けて暮らし、農民を働かせ、自らは戦いに備えて武芸の訓練にはげんだ。
- 地頭の支配…地頭である武士が土地と農民を支配し荘園領主と争う。農民は領主・地頭の二重支配に苦しむ。
- 民衆と農業・商業…牛馬や鉄製の農具、草木を焼いた灰の肥料の使用で農業生産が高まる。西日本を中心に稲と麦の二毛作。寺社の門前や交通の要所で定期市が開かれ、宋銭が使われる。

5 祇園精舎の鐘の声(図表のワーク⑯～⑲)教科書 P.70・71

- 鎌倉文化…武士や民衆の力強さが表れる。東大寺南大門や運慶・快慶らの金剛力士像。藤原定家らによる「新古今和歌集」、琵琶法師が語った「平家物語」などの軍記物、「方丈記」(鴨長明)、「徒然草」(兼好法師)、似絵。
- 新しい仏教…浄土宗(法然)、浄土真宗(親鸞)、時宗(一遍)、日蓮宗(日蓮)。中国から禅宗が伝わる。

図表のワーク

 学習のまとめを見て
図表を完成させよう

世紀	武士のおこり
10	地方の国司やその子孫、有力な農民や豪族たちが武装→武士団の形成 関東で① 瀬戸内で②
11	白河上皇が④を開始 保元の乱と⑤→③と平氏の武士を動員→源義朝を破った⑥が実権を握る
12	平氏政権 …⑥は太政大臣に任じられ、一族は朝廷の高い地位を独占 →大輪田泊を整備し、中国の⑦と貿易 源平の争い …平氏に対する反感が高まり、諸国の武士たちが挙兵 →平氏は⑧の弟の⑨によって壇ノ浦で滅ぼされた 鎌倉幕府の成立 …⑧は、国ごとに⑩、荘園・公領ごとに⑪を置き、1192年、征夷大將軍に任じられた 將軍と御家人の間に⑫と奉公の主従関係 ⑧の死後、⑬の北条氏が幕府の実権を握る ⑭…1221年、後鳥羽上皇が挙兵→幕府の大勝 幕府は京都に⑮を置いた 武家政治の確立 …幕府の支配力が強まった 北条泰時らが1232年に⑯を制定
13	鎌倉幕府のしくみ 
	民衆の暮らし ・農業生産の高まり→西日本を中心に稲と麦の⑰ ・交通の要所で⑱が開かれ、宋銭が使われる

▼鎌倉時代の新しい文化

文学	和歌集	『⑲』…藤原定家ほか
	軍記物	『⑳』…琵琶法師の語り
	随筆	『方丈記』…鴨長明 『㉑』…兼好法師
建築	東大寺の再建…宋の様式を取り入れた南大門	
彫刻	金剛力士像…㉒	・快慶らが制作

▼鎌倉時代の新しい仏教

宗派	開祖
㉓	法然
浄土真宗(一向宗)	㉔
時宗	㉕
日蓮宗(法華宗)	㉖
㉗ 臨済宗	栄西
曹洞宗	道元

確認問題

→類題演習 P.76

① 武士の登場 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 10世紀中ごろ、関東地方では□①が、瀬戸内地方では□②が反乱をおこしたが、朝廷に仕える武士によって治められた。 ①() ②()
- (2) 武士団の中でも特に、天皇の子孫である源氏と□が棟梁として武士団を率いるようになった。 ()
- (3) 地方の武士は開発した土地を、有力な貴族や寺社に寄進して□とした。 ()

② 貴族から武士へ 次の問いに答えなさい。

- (1) 白河天皇が位をゆずって上皇になったのちも行った政治を何というか。 ()
- (2) 12世紀中ごろの平治の乱で、源義朝を破った平氏の中心人物はだれか。 ()
- (3) (2)が武士として初めて就いた朝廷の最高の役職を何というか。 ()
- (4) (2)が瀬戸内海の航路や大輪田泊(現在の神戸港)を整備して貿易を行った国はどこか。 ()
- (5) 1185年に平氏が滅びた場所はどこか。 ()

③ いざ鎌倉 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 1185年、源頼朝は国ごとに□①を、荘園や公領ごとに□②を設置することを朝廷から認められた。 ①() ②()
- (2) 1192年、源頼朝は□に任命され、全国の武士をしたがえる地位を得た。 ()
- (3) 将軍が、御家人の先祖から受け継いだ領地を保護したり、新たな土地をあたえたりしたことを□という。 ()
- (4) 将軍と御家人が土地を仲立ちとした主従関係を結ぶしくみを□という。 ()
- (5) 源頼朝の死後、幕府の実権を握った北条氏は□の職を独占した。 ()
- (6) 1221年に後鳥羽上皇が挙兵したが、幕府軍に敗れたできごとを□という。 ()
- (7) (6)のあと、朝廷を監視するため幕府は京都に□を置いた。 ()
- (8) 1232年に北条泰時は□を定め、裁判を公平に行うための基準を示した。 ()

④ 弓馬の道 次の問いに答えなさい。

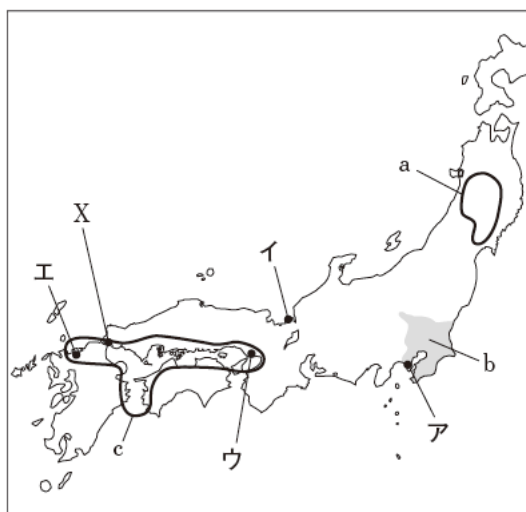
- (1) 鎌倉時代の農民は二重支配に苦しんだ。支配したのは地頭と何か。 ()
- (2) 鎌倉時代に、同じ耕地で稲の裏作に麦がつくられるようになった。この方法を何というか。 ()
- (3) 鎌倉時代に、交通の要所で開かれ、商品交換の場となったのは何か。 ()

⑤ 祇園精舎の鐘の声 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 運慶や快慶らによって□がつくられ、東大寺南大門に納められた。 ()
- (2) 藤原定家らが□という和歌集を編集した。 ()
- (3) 源平の戦いを描いた軍記物の「□」は、琵琶法師によって語り伝えられた。 ()
- (4) □は、念仏を唱えればだれでも極楽浄土に生まれ変われると浄土宗を開いた。 ()
- (5) 栄西は禅宗の一派である□を中国から伝えた。 ()

練習問題

1 次の地図と年表を見て、あとの問いに答えなさい。



年	できごと
935	平将門 たいらまさかど の乱がおこる……………A
939	藤原純友 ふじわらのすみとも の乱がおこる……………B
1086	白河上皇の院政 いんせい が始まる
1156	保元 ほうげん の乱がおこる……………C
1167	平清盛 きよもり が①になる……………D
1185	平氏 へいし が減びる……………E
1192	源頼朝 げん らいちょう が②になる
1219	③の北条氏 きたうぢ が実権を握る
1221	承久 じやうきゅう の乱がおこる……………F
1232	北条泰時 きたうぢ たいじ らが法令を定める…G

- (1) 年表中の①～③にあてはまる役職名をそれぞれ答えなさい。
- (2) 年表中のA、Bがおこった地域を、地図中のa～cからそれぞれ選び、記号で答えなさい。
- (3) Cの3年後におこり、平氏が源氏を破った戦いを何というか。
- (4) Dについて、平清盛が中国との貿易を進めるために整備した港の位置を地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。
- (5) Eについて、地図中のXでの戦いで平氏は滅んだ。Xの地名を答えなさい。
- (6) Eと同じ年に源頼朝が国ごとと荘園や公領ごとに置いた役人をそれぞれ何というか。
- (7) Fについて、幕府打倒の兵を挙げた人物を次から選び、記号で答えなさい。
ア 後三条天皇 イ 聖武天皇 ウ 桓武天皇 エ 後鳥羽上皇
- (8) Fの後、幕府が朝廷を監視するために京都に置いた機関を何というか。
- (9) Gの、裁判の基準などを定めた法令の名を答えなさい。

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代になると、①農業が進歩し人々の生活も大きく変わった。また、②新しい仏教の宗派がおこったほか、③武士の活躍を描いた軍記物や④宋の様式を取り入れた建築物などがつくられた。

- (1) 下線部①について、西日本で広まった、同じ土地で稲のあとに麦を栽培することを何というか。
- (2) 下線部②にあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
ア 浄土真宗 イ 浄土宗
ウ 天台宗 エ 日蓮宗
- (3) 下線部③のうち、琵琶法師によって語り伝えられた作品は何か。
- (4) 下線部④について、金剛力士像こんごうりきしぞうが置かれた、右上の写真の建物を何というか。

1 学習のまとめ ①～③

- (1) ① _____
- ② _____
- ③ _____
- (2) A _____
- B _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) 国ごと _____
- 荘園や公領ごと _____
- (7) _____
- (8) _____
- (9) _____

2 学習のまとめ ④・⑤

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____

Key プラス

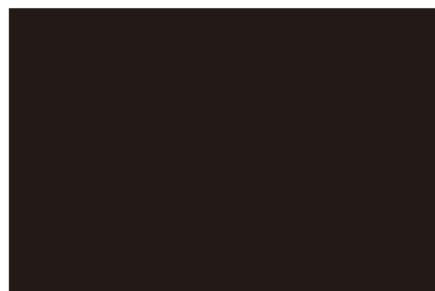
- 1** 次の史料は、北条政子の訴えの一部要約である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

武士たちは、以前は3年間の都の警備を終えた時、費用を使い果たして馬を手放し、とぼと歩いて帰ってきたではないか。①公はそれをあわれに思い、3年を6か月に縮め、生活が成り立つようにされたのだ。この情け深い御心を忘れて、京都に味方するの。それとも鎌倉にとどまって、將軍家に②するの。今はっきり申してみよ。

- (1) 史料中の①には、北条政子の夫であった人物の名前があてはまる。この人物名を答えなさい。
- (2) この訴えは、ある戦乱に際して行われたものである。その戦乱を次から選び、記号で答えなさい。
- ア 平治の乱 イ 壬申の乱 ウ 承久の乱 エ 保元の乱
- (3) (2)の後、幕府が朝廷を監視するために京都に置いた役所を何というか。
- (4) 史料中の②には、御家人が將軍に対して忠誠を誓い、いざというとき、一族で命がけで戦いに参加したことなどがあてはまる。これを何というか、漢字2字で答えなさい。
- (5) (4)に対して、將軍は御家人を守護や地頭に任命し、新たな土地をあたえた。これを何というか、漢字2字で答えなさい。

- 2** 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料Ⅰには、時宗を開き、旅をして踊念仏による布教をした僧が描かれている。この僧はだれか。
- (2) 資料Ⅱは、裁判を公平に行うための基準として、1232年に北条泰時らが御家人に示したものである。資料Ⅱの文中の①・②にあてはまる役職名をそれぞれ答えなさい。また、この資料Ⅱの法令の名前を答えなさい。
- (3) 資料Ⅰ・Ⅱのころ、商業ではどのような動きが見られるようになったか。「定期市」と「交通」の2つの語句を使って簡単に答えなさい。
- (4) 資料Ⅰ・Ⅱのころ、榮西や道元は宋から、③を伝えた。④にあてはまる語句を答えなさい。



Ⅱ
—

諸国の①の職務は、(略)国内の御家人を大番(京都の御所の警備)にあたらせること、謀反や殺人などの犯罪人を取りしめることである。

—

②は、莊園の年貢を差しおさえてはならない。

—

20年以上継続してその土地を支配していれば、その者に所有を認める。
(一部要約)

1の答え

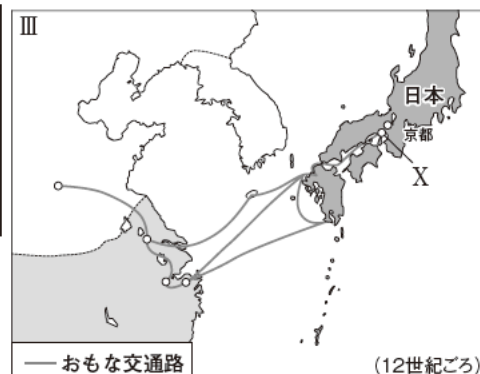
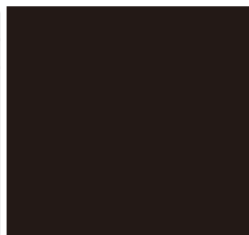
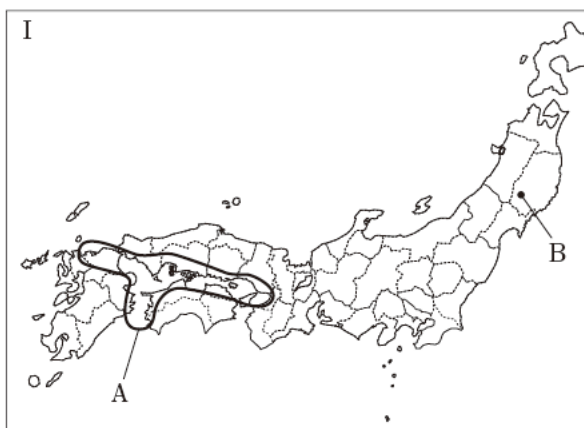
- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____

2の答え

- (1) _____
- (2) ① _____
- ② _____
- 法令 _____
- (3) _____
- _____
- _____
- (4) _____

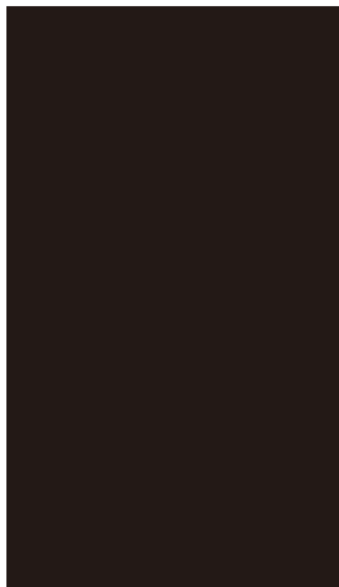
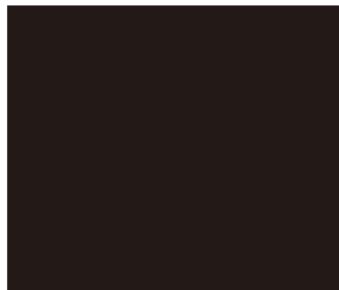
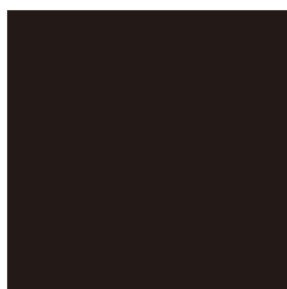
ここで得点アップ!

1 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) 10世紀中ごろ、資料ⅠのAの地方で反乱をおこした人物はだれか。 ☐ ()
- (2) 奥州藤原氏は11世紀後半に東北地方の争乱を経て、資料ⅠのBに本拠を置き、都から僧を招いたり寺院を造営したりして繁栄した。Bの地名を答えなさい。また、この本拠地にある、金色堂を持つ寺院を何というか。
☐ B () ☐ 寺院 ()
- (3) 資料Ⅱの人物は武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物である。この人物はだれか。また、この人物の政治と藤原氏の摂関政治の共通点を「后」の語句を使って説明しなさい。
☐ 人物 () ☐ 共通点 ()
- (4) 資料Ⅱの人物は、現在の兵庫県に資料ⅢのXの港を整備し、中国との貿易をさかんに行った。Xの港の当時の名前を何というか。また、この人物が貿易を行っていた中国の国名を何というか。
☐ X () ☐ 国名 ()

2 鎌倉時代についての左の資料を見て、次の問いに答えなさい。



- (1) 資料Ⅰは1221年の承久の乱で活躍した人物である。この人物はだれか。また、承久の乱のあと、幕府の支配が大きく広がることとなった。その理由を、「地頭」と「西国」と「御家人」の3つの語句を使って、簡単に答えなさい。 ☐ 人物 ()
☐ 理由 ()
- (2) 資料Ⅱは東大寺南大門の金剛力士像である。写真からわかるこの時代の文化の特徴を、「武士」の語句を使って、簡単に答えなさい。
☐ ()
- (3) 鎌倉時代の文化としてあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。 ☐ ()
 ア 『方丈記』 イ 『徒然草』 ウ 『古今和歌集』 エ 『平家物語』
- (4) 資料Ⅲは田植えの様子を表している。鎌倉時代、農業ではどのような動きが見られるようになったか。「二毛作」の語句を使って、簡単に答えなさい。
☐ ()